小樽南ロータリークラブ会報

１９６０年創立
昭和３５年２月５日
2026年11月20日㊎発行
通巻第３１４８号
15

持続可能な
インパクトを
生み出そう

Rotary

2026-2027年度ＲＩ第２５１０地区目標
【クラブ基盤の強化】
【奉仕活動の推進と公共イメージの向上】
【会員研修の充実と若い世代とのつながり強化】

My Rotary
2510地区ホームページ
ＩＣＴ委員会Ｆａｃｅｂｏｏｋ
各委員会へのメール

2026−2027年度 地区活動方針
Discover your joy in Rotary

●例会場：オーセントホテル小樽　●例会日：毎週金曜日 12 時 30 分
●事務局：〒047-0032小樽市稲穂2-15-1(オーセントホテル内) TEL.0134-27-8123
●Club Homepage：URL https://rid2510.org/otarushouth/

今週　１１月２０日　●通常例会　卓話（太田会員）
来週　１１月２７日　●休会
再来週　１２月４日　●通常例会

■例会プログラム　ロータリー財団について

■会長挨拶【井手信治会長】



皆様、ご苦労様です。今週は朝起きると一面の雪で、いよいよ冬の到来を感じましたが、本日は１３度と暖かな一日になりました。灯油で暖房をされている方は、今年も負担が大きいことと思います。私の会社でもかなりの灯油を使いますので、工夫しながら対応していかなければと考えています。

今朝はマイクロソフトの通信障害が世界的に発生し、私どものお客様の中にも、メールが届かず仕事にならないという方がいらっしゃいました。個人情報の流出も相次ぐ中、ＩＴが止まると世界が止まってしまう。社会全体が振り回されるのが今の世の中なのだと感じました。

私も来年には６０歳になります。映画「踊る大捜査線」の新作では、同年代の主人公が若い人やＩＴについていくのに苦労しながら、昔の良さを残しています。世の中のスピードが速くなったのか、自分が年をとったのか、しみじみと感じた次第です。

本日はロータリー財団月間にちなみ、山村財団委員長にお話しいただきます。また、来週の例会では次々期会長の選任についてご賛同をいただく予定ですので、よろしくお願いいたします。

■幹事報告

①１１月２０日（金）は通常例会です。太田会員の卓話を予定しています。
②１１月２７日（金）は定款に基づく休会です。
③１２月４日（金）は通常例会です。
④１２月１８日（金）に年末家族懇親会を開催します。ご家族もお誘いのうえ、期限までに出欠をご返信ください。
⑤米山記念奨学会のメール配信を担う会社で情報漏洩があり、同会関係の２４９件が対象となりました。財団の名義でウイルスを含むメールが届くおそれがあるため、財団から直接届いたメールは開かずに削除してください。

■出席報告

２０２６年１１月１３日

総会員数５１名　欠席者数１９名
荒田、石川、伊早坂、小笠原、桂、工藤、斎田、斎藤（英）、佐藤（公）、佐藤（友）、田中、拝田、馬場、吹田、宮川、湊、水谷、村越、山下

例会プログラム

■ロータリー財団について

【山村弘一ロータリー財団委員長】



本日は、ポール・ハリス・フェロー（ＰＨＦ）を目指しませんかというお話をさせていただきます。最近入会された方には、なじみの薄い制度だと思います。

お手元の「クラブの認証概要レポート」には、各会員の認証ポイントなどが記載されています。当クラブでは、このポイントを活用したＰＨＦへの寄付のお願いを、１０年以上行ってきませんでした。なお、「ＰＨＦ＋５」などの数字は認証の段階を表し、＋５まではサファイア、＋６以上はルビーのバッジが贈られます。

【地区とクラブの現況】

ロータリー財団は「世界でよいことをしよう」という理念のもと、皆様の寄付と恒久基金によって世界各地の奉仕活動を支えています。

２５１０地区の１人あたり年次基金寄付は１３５．５ドル（約２万１千円）、年次基金の合計は約３０万８千ドル（約４，８７０万円）で、昨年度の新規ＰＨＦは１７８名でした。日本の寄付総額は世界第４位で、約２７億円に上ります。

一方、当クラブの１人あたり寄付は５４．３７ドル（約８，５００円）にとどまり、２万円余りの小樽ロータリークラブの半分以下です。地区平均に届くには、１人あたりあと８１ドル（約１万３千円）が必要です。なお、日本の目標は１５０ドルです。

【ＰＨＦ認証の仕組み】

ＰＨＦは１，０００ドルの寄付で認証され、不足分は他の会員やクラブが持つ認証ポイントを譲り受けて補うことができます。ポイントは本人の認証には使えず、使わなければ眠ったままになります。

近年では、２０２３年に井手会長、２０２４年９月に伊藤会員、２０２５年に桂会員が認証を受けました。以前は１，０００ドルが３万円から５万円ほどでしたが、１ドル約１５８円の現在では約１６万円になります。先輩方の「少なくとも半分は自分で出すべき」とのご意見を踏まえ、約８万円をご自身で寄付し、残りをポイントで補う形を考えています。

退会された松浦さんは約１万５，５００ポイント（約１５０万円相当）をお持ちです。先日、井手会長と二人で松浦さんを訪ね、このポイントを活用させていただくご承諾を得ました。クラブ保有のポイントも約４，６００あります。また、他クラブから移籍された方のポイントも、当クラブでそのまま生かすことができます。

【ＰＨＳについて】

ポール・ハリス・ソサエティ（ＰＨＳ）は、ポイントに頼らず毎年１，０００ドル以上を寄付する制度です。拝田会員は２０２４－２５年度、地区で４名の新規加入者の一人となり、毎年約１６万円を寄付されています。なかなかできることではありません。

【今後の進め方】

現在、当クラブは地区からの補助金をまったく受けていません。寄付が増えれば、クラブに配分される資金も受けやすくなります。南クラブの寄付の状況を少しずつ高めていきたいと考えています。

１２月には間に合いませんが、井手会長と相談し、会長の任期中である来年６月までに、１５名から２０名のＰＨＦ認証を目標に進めてまいります。

１５年ほど前には「自分のポイントは譲りたくない」という会員もいましたが、ポイントは本人には使えず、持っているだけでは生かされません。お持ちの方には譲渡のご承諾をお願いすることになりますので、ご協力をお願いいたします。

【質疑応答】

Q：目標は何人ぐらいですか。

A：名簿に載っている４７名を対象に、１５名から２０名を目指したいと思います。目標は高いほどよいと考えています。

Q：４年かけて認証を目指すというのは、どういうやり方ですか。

A：年２５０ドルずつ自分で寄付を積み重ねる考え方です。半額に達すれば、残りはポイントを譲り受けて補えます。なお、米山記念奨学会への寄付とは別のもので、振り替えはできません。

会場からは「半分ぐらいは自前で出し、残りをポイントで補う形がよい」との声があり、自己負担は約８万円を目安に進めることになりました。



会　員　結　婚　祝

井手　信治 会員　中井健太郎 会員

見延庄三郎 会員

おめでとうございます



会　員　誕　生　祝

野村　定弘 会員　白石　亨一 会員

三輪　俊之 会員　盛　　昭義 会員

おめでとうございます

まごころ箱・・・・・・いつも有難うございます！

井　手　会員…本日はご苦労様でした。山村財団委員長ありがとうございました。皆様の財団寄付よろしくお願いします。

井　手　会員…結婚２９年。最近は家族というより同居人のような感じがしています。

中　井　会員…いつもありがとうございます。夫婦の会話も最近増えたので、まだしばらくは大丈夫かと思います！今後ともよろしくお願いいたします。

見　延　会員…６５回目の結婚記念日を迎えました。感謝です。

野　村　会員…１５日から後期高齢者です。あっという間でした。

三　輪　会員…５４歳となりました。父と母に感謝です。そして子どもたちに感謝です。

白　石　会員…会員誕生祝。

盛　　会員…会員誕生祝。

伊　藤　会員…「ハオ」での例会、ありがとうございました。

松　尾　会員…バッジを忘れました。申し訳ありません。

入金集計額 令和 8.7.1 ～令和 8.11.13（20,000 円）　合計 **364,000円**